Creative Enzymes®

プロテインキナーゼ G Iβ ヒト、組換え

Cat. No. NATE-0580

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロテインキナーゼG Iβは、ヒト乳がん細胞株MCF-7およびMDA-MB-468などの特定の細胞株においてアポトーシスを誘導します。これは、細胞□殖を抑制し、大腸癌細胞株においてアポトーシスを誘導します。
用途	プロテインキナーゼGは、cGMPによって活性化されるセリン/スレオニン特異的プロテインキナーゼです。プロテインキナーゼG Iβは、アポトーシスを誘導し、細胞□殖を抑制するために使用されます。
別名	プロテインキナーゼ G Iβ; PRKG1B; PRKGR1B; PKG1B; cGMP依存性プロテインキナーゼ 1; cGKI-BETA

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 76 kDa (monomer)
純度	>95% (SDS-PAGE)
活性	> 1.5 ユニット/ mg タンパク質 (cGMPによる20倍の刺激 (5 μM))
緩衝液	20 mM Trisバッファー（pH 7.4）、1 mM EDTA、1 mM β-メルカプトエタノール、100 mM NaCl、10 U/ml トラシロール、50% グリセロールの溶液。
代謝□路	適□免疫系、特定生物のバイオシステム；ギャップジャンクション、特定生物のバイオシステム；ギャップジャンクション、保存されたバイオシステム；止血、特定生物のバイオシステム；免疫系、特定生物のバイオシステム；長期抑□、特定生物のバイオシステム；長期抑□、保存されたバイオシステム
機能	ATP結合; cGMP結合; cGMP依存性プロテインキナーゼ活性; カルシウムチャネル調節因子活性; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、10 mM HEPES、pH 7.4、5 mM MgCl2、1 mM DTE、および0.2 mM EDTA中で、1分あたり1マイクロモルのVASPtide (RRKVSKQE)基質をリン酸化します。

保管・発送情報

安定性	−20°C